

なかなま 手もつなごう

第142号

発行所 岡山市中区古京町1-1-17
公益社団法人岡山県栄養士会
電話 086-273-6610
FAX 086-273-6667
HPアドレス
http://okayama-eiyo.or.jp/
E-mail
jim@okayama-eiyo.or.jp
編集 なかま
編集委員会
印刷 西尾総合印刷株式会社



楽しい給食♪



つながる食育



給食室から毎月の目標をお知らせしています



地産地消！！ 岡山の旬の食材を取り入れた給食

今日のみそ汁の黄にらは 学校で育てたもの です！！

この黄にらは、一昨年前の5月に中学部Ⅲグループが植田さんをゲストティーチャーにお迎えして種をまき、育ててきたものです。
昨年12月に、元気に育ったみどり色のにらを刈り取り、黒い覆いをかけて、黄色のにらが育つようにしていました。そして、一昨日収穫をしました。「わぁ！！」と思わず歓声があがるくらい、立派な黄にらに育っていました。ぜひ、みんなで味わってみてください！！

☆植田さんからのメッセージ

素晴らしいです！僕もいろいろな学校におじゃましていますが、一緒に種から黄にらを育てるなんて初めてだったので、ドキドキしていました。予想以上に立派に育っていて、うれしいです。

植田さん



会長あいさつ

(公社)岡山県栄養士会 会長 坂本八千代



今年の梅雨は駆け足で過ぎ去り、体温以上の猛暑で熱中症の心配となかなか外せないマスクと何とも暑い夏と戦っております。みなさん、お元気で過ごしてでしょうか？会長

を拝命しまして、5年目を迎えました。なかなかコロナの終息が見えず、今年もwith コロナで十分配慮しながらハイブリットあるいは対面で研修会を開催し、顔の見える関係の構築を図りたいと考えております。総会資料にも基本方針をお示ししていますが、ここで再度3点お願いしたいことがあります。

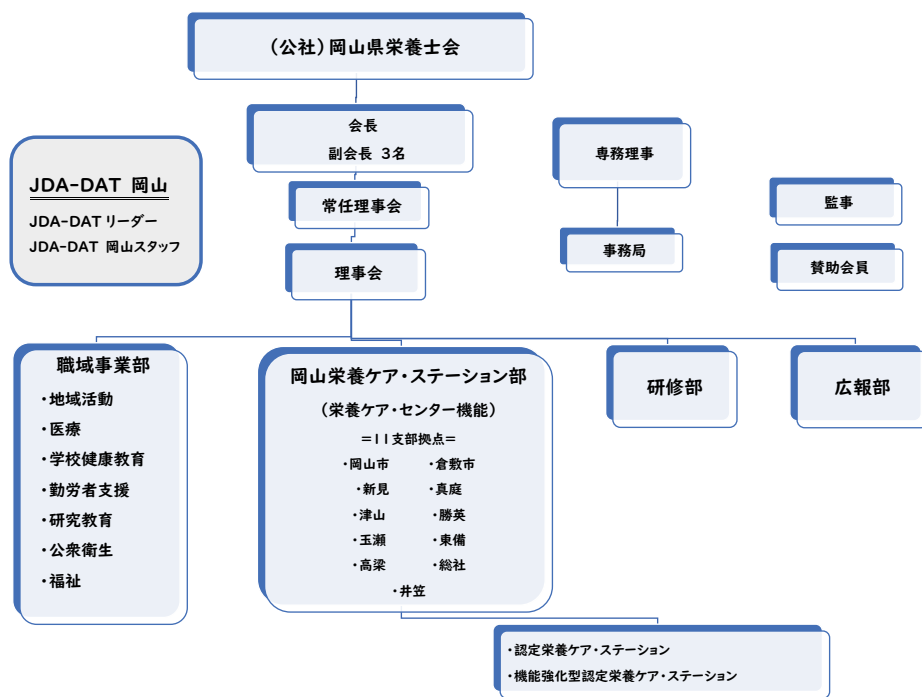
まず、会員各自が自らの資質向上のため、内容のある魅力的な研修会を開催してまいります。是非ご参加をお願いいたします。それが会員を増やす原動力になると思います。Web研修にもずいぶん慣れてこられたと思います。できれば100名を超える研修会が開催できればと願っております。

2点目として重点目標にも挙げておりますが、栄養ケア・ステーション事業を推進してまいります。日本栄養士会においても重要な課題として挙げられているのが栄養ケア・ステーション事業の推進です。今回、説明会を開催し、意見交換を行い、地域活動事業部の活動とほぼ同じ内容となっており、組織の再編も進めています。超高齢化社会を迎え、私た

ち管理栄養士・栄養士が具体的な活動内容に落とし込んで、地域から必要とされる組織づくりを目指して参ります。

3点目として災害への対応です。JDA-DATリーダーそしてJDA-DAT岡山スタッフが中心となりますが、スタッフ養成研修・スキルアップ研修の企画・運営、マニュアルの更新、研修会の企画、アクションカードの整備など様々な対応が必要となります。災害が発生した場合には、リーダーやスタッフだけでは到底対応できない状態になります。会員の協力なくしては対応できませんので何卒ご協力のほどお願いいたします。災害に対して何らかの研修を受けていただいていると戸惑いも少ないのではないかと思います。

最後に、退会される会員のデータを日本栄養士会で分析されていましたが、60歳代前半の方々の退会が多くなっています。長年培われてこられたスキルを栄養ケア・ステーション事業に活かしていただきたいと存じます。どうぞ今年度もよろしくお願いいたします。



令和4・5年度 (公社)岡山県栄養士会組織図

みなさんのご協力をよろしくお願いいたします

(公社)岡山県栄養士会 副会長 森光 大



今年から2年間、新たな気持ちで副会長の役をさせていただきます。また、これまでは、スキルアップ研修委員会の担当でしたが、今期から広報担当を命ぜられました。これまでの継続というより、効率的なホームページのリニューアル、なかまのあるべき姿の再検討等、限られた経済状態の中でもできることをリノベーションしたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

「副会長に就任して…転換期」

(公社)岡山県栄養士会 副会長 光森 麻里



副会長を拝命し、早5年目になりました。今年度は、役員の仕事の軽減や効率化を念頭に岡山県栄養士会の委員会を再構成したり、岡山県栄養士会40周年記念事業に向けて取り組んだり、今までの先輩方の功績を振り返りつつ、未来を見据えた会の運営へと舵取りをしていく転換期となりそうです。

未来を考えた時、この栄養士制度の礎となった佐伯矩博士を思い浮かべます。「栄養学が学問の世界に留まらず国民生活において実行されてこそ意味を持つもの」と仰って栄養学校を創設されたと拝聴しています。岡山県栄養士会の40年を振り返る時、佐伯博士の言葉を噛みしめながら、この先の岡山県民の健康寿命延伸のための活動ができるよう、坂本会長の下、微力ながら活動を計画・実施していくお手伝いができたらと思っています。

どうか引き続き会員の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

副会長3期目にあたって

(公社)岡山県栄養士会 副会長 下山英々子



副会長5年目の目標は岡山栄養ケア・ステーションを中心拠点として地域にサテライト拠点の設置を推進することです。県民の皆さんに「ここにあなたの管理栄養士・栄養士がいる」ことを伝え、開かれた窓口として、県全域に「栄養ケア」を提供していきたいと思っています。そのためにも会員増！！未加入の管理栄養士・栄養士の発掘と、退職する会員が栄養士会に残って活動を支えていただけるように頑張っています。

専務理事2期目を就任して

(公社)岡山県栄養士会 専務理事 寺尾 幸子



新型コロナウイルス感染症で生活環境が大きく変化してきました。事務局では各種事業のサポートや会員管理等々迅速かつ丁寧な対応が求められています。11支部7事業部の活動、また、本会事業（委員会や委託事業など）においても公益社団法人として信頼される岡山県栄養士会の円滑な運営を目指し、今期も務めさせていただく所存です。毎週木曜日は事務局に出勤しています。どうぞよろしくお願いいたします。

よろしくお願ひします

令和4年度の理事です

玉瀬支部 山口 明子

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、栄養士会活動は事業を大幅に縮小していますが、地域の高齢化はどんどん進んでいます。玉野市では2024年に、市民の4人に1人が後期高齢者になるというデータが出ています。

多職種としっかり連携しながら地域を支える団体になれるよう「チーム力」を強固にして頑張りたいです。会員の皆様、栄養士会にお力をお貸しく下さい。よろしくお願ひします。



東備支部 金谷 香

この度、岡山県栄養士会の理事並びに東備支部支部長を務めさせていただくことになりました。以前病院勤務をしており、先輩の栄養士もいないため、支部活動を通していろいろな職種の栄養士の先生方に助けてもらいました。現在コロナ禍でなかなか研修や地域活動を行うことが難しくなっていますが、会員の皆様のお役に立てるようにお手伝いさせていただきます。自分自身もまだまだ勉強中ですが、どうぞよろしくお願ひいたします。



総社支部 清水 恵

この度、岡山県栄養士会の理事を務めさせていただくことになりました総社支部の清水です。

新型コロナウイルスの影響による新しい生活様式の中で何かと制限が多い状況ではありますが、栄養士会活動では様々な職域の方と情報交換を図り多くのことを学ばせていただきながら、総社支部や会員の皆様同士が相談しあえる「顔の見える関係づくり」に努めたいと考えています。

微力ながら頑張っていきたいと思いますので、ご指導をよろしくお願ひいたします。



井笠支部 畦崎 智世

この度、理事を務めさせていただくことになりました。日々、栄養教諭として子どもたちの生涯にわたっての健康を考え、学校給食を通じて食育を推進し、心に残る学校給食をめざしています。栄養士会においては、様々な職域の方々と連携し、微力ではありますが、少しでもお役に立てるように頑張りたいと思います。ご指導、ご協力よろしくお願ひいたします。



高梁支部 大久保加容子

この度、岡山県栄養士会の理事を務めさせていただくことになりました。

高齢者福祉施設に勤めて10年が経ちました。これまでは、高齢者福祉に目を向けることが多かったのですが、これを機に他の分野の方との関わりが増えることを楽しみにしています。

つながりを大切に活動が出来たらいいなと思っています。

会員の皆様と地域の皆様に、少しでもお役に立てるように頑張りますので、ご指導ご協力をよろしくお願ひします。



新見支部 藤野 美恵

今年度より新見支部支部長を務めさせていただきます。

コロナ禍にあって、会員の方々との交流もできず、通信機器のみでのコミュニケーションでコンタクトをとってきましたが、今年度は、少しずつ、世の中の動きに合わせて支部活動を計画しております。

食を扱うことを業として、美味しい食べ物に出会い、栄養を考えながら日々、過ごしていました。しかし、世界では戦争も起こり、決して他人ごとではないこの状況で、物価上昇もあり、頭をフル稼働することが多くなったように感じております。

持続可能な方向へ会員と一緒に仲良く進めていけたらと考えております。どうぞ、よろしくお願ひいたします。



真庭支部 池田 丈太

前期に引き続きまして、理事に拝命いただきました。普段は、SDGsの理念のもと、住民や各種団体の皆様と連携・協働し、健康を豊かに育む食生活の確立を目指した各種食育・健康施策を展開する業務をしております。



任期の中で、変化と挑戦を楽しみながら、誠実に1つ1つ課題に取り組み、岡山県栄養士会の更なる発展に微力ながら尽力してまいりたいと思います。今後ともご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

勝英支部 浅浦 久美

勝英支部の理事を拝命いたしました浅浦です。

今まで、支部活動に関わることなく栄養士業務を行っていたので、どのような活動を展開していけばいいのか分からず不安ですが、地域の栄養士会会員の方々のご協力をいただきながら、諸先輩方のご指導の下頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



倉敷支部 新田 和子

この度、倉敷支部長を拝命いたしました。倉敷支部としての活動は初めてで不慣れなことも多く皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思えます。会員の皆様のご協力をいただきながら、令和4年度事業計画を進めてまいりたいと思います。役員同士、顔の見える横の繋がりを大切にしながら活動できるように努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



津山支部 橋本美由紀

今期も引き続き理事をさせていただきますこととなりました。今年度津山市ではフレイル対策モデル事業としてフレイル予防講座(栄養編)が予定されており、市民の健康増進、介護予防の推進に向け、栄養士への期待は高まっています。今だからこそできることにみんなで知恵を出し合い、仲間と一緒にチャレンジしませんか。新しく津山支部に入会された皆様もぜひ活動にご参加ください。皆様の笑顔をお待ちしています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



岡山市支部 宇野富美子

この度、理事に就任いたしました岡山市支部の宇野と申します。

岡山市支部では、栄養成分表示、骨密度測定、地域ケア会議など県栄養士会と協力した事業を進めるとともに、生活習慣病予防や災害時のための料理教室も行ってきました。しかしこの2年間はコロナ禍のため、活動自粛を余儀なくされました。今年度は情勢を見極めながら、少しずつ活動の幅を広げていきたいと思っています。皆様のご指導をいただきながら、精一杯努めたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



学校健康事業部 光畑 和美

この度、2期目の理事を務めさせていただくことになりました。1期目は右も左も分からないまま本会の事業に関わらせていただき、学ぶことの多い2年間でした。その中で視野の狭さに気づかされることも多く、全体を見ながら物事を判断することの大切さを感じました。今後は、地域の方々のお役に立てるよう、様々な職域の方と協力して頑張りたいと思っておりますので、皆様のご指導とご協力をお願いいたします。



公衆衛生事業部 佐守 直子

この度、岡山県栄養士会の理事をつとめさせていただくこととなりました。

住民の方の生涯を通じての健康づくりの推進にむけて、栄養・食生活の改善を進めるための業務を行っておりますが、「個人を健康に」「地域を健康に」していくことは、公衆衛生事業部の栄養士だけでは難しく、まさに「なかま」が必要です。

支部・事業部の方と情報や課題を共有し連携を深めながら、少しでも会員の皆様のお役に立てるよう努力してまいりたいと思っておりますので、ご指導いただきますようよろしくお願い申し上げます。



勤労者支援事業部 本多 佳代

岡山県栄養士会の理事を再度務めさせていただきます。

私たち一人ひとり、健康増進の専門職のリーダーです。

そして専門的な情報を交換し、スキル向上が図れる場が栄養士会でしょう。

今、勤労者支援では領域別に次の3つのグループで、オンライン活用した活動を始めます。

①食事提供領域②製造流通領域③栄養情報領域各活動が活力あるものとなるよう、微力ながら貢献させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。



研究教育事業部 西村美津子

この度、研究教育事業部の理事として就任させていただくことになりました。これから他の事業部の方々と連携し、各種事業を通じて栄養士会の会員の皆様のお役に立てるよう、微力ながら頑張りたいと思います。会員増対策や会員同士の連携、専門職としてのスキルアップに向け、新しい視点や考え方などを取り入れ、成果の見える活動となるよう努力してまいりたいと考えます。どうぞ、皆様からのご支援とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



医療事業部 市川 和子

昨年は、Zoomを用いた役員会も毎月定期に行うことができ、参加率90%以上と今までより役員の皆様と密な情報交換ができたことを嬉しく思っています。年に数回の関りとは比べ毎月会うことにより役員からの意見も活発になり活性化できたのではないかと考えます。R4年度も引き続きZoomを上手く活用して遠隔の皆様との交流をさらに密にして会員の求めるものを抄い上げ、研修会等に生かしていきたいと考えております。今年度は、研修対象範囲を中国エリアに拡大して実施しようと考えております。折角の新しい情報機器を活用したシステムを生かして推進したいと考えております。また、連年行っている実態調査も高い回収率を維持できており、岡山県の実態を見ることができる資料となっています。

どうぞ今年度も医療事業部の事業に対しご協力いただきますようお願いいたします。



地域活動事業部 細川 良子

この度の総会におきまして、理事として4期目を選任いただき、責任の重さをひしひしと感じております。3期を経て、見てくることも多々あり、理事として主に担当することとして、①災害支援対策体制づくりとしてJDA-DAT岡山のかなで、マニュアル更新とアクションカードの整備、スキルアップ研修会とスタッフ養成研修の企画、運営、組織体制構築②地域活動事業部として研修会を中心として学びと連携をはかっていきたいと考えております。



福祉事業部 窪田 紀之

福祉事業部にて2期目の理事を拝命いたしました。令和3年度は介護報酬の改定がありました。介護保険施設で人員配置基準に管理栄養士が明記され、ご利用者さんの栄養に関する情報を提出することで算定される新たな加算など、大きな変化がありました。この変化に対応できるように、質の高い研修会の企画・運営を行い、会員の皆様に情報発信をして参ります。共にスキルアップをしましょう。



公衆衛生事業部 小野ひかり

この度、公衆衛生事業部から理事を務めさせていただくことになりました。

当事業部は、県や市町村の行政栄養士で構成されており、地域の乳幼児から高齢者まで、幅広い年代に対する健康づくりを行っています。

私自身は経験が浅く、至らない点も多いと思いますが、様々な支部・事業部の方々や理事の取り組みを通して自身の成長に繋げていきたいと考えております。

皆様のご指導をいただきながら、頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



令和4年度監事です



難波美智子

各種表彰受賞者紹介

受賞者の皆様おめでとうございます。

栄養改善事業、栄養指導業務、栄養士養成に功労のあった管理栄養士・栄養士の方に対し授与されます。

岡山県知事表彰

栄養士養成功労 ひとみ てつこ 人見 哲子 様

岡山県保健福祉部長表彰

栄養改善事業功労 くろずみ じゆんこ 黒住 順子 様
 栄養指導業務功労 あきやま はるみ 秋山 晴美 様
 栄養士養成功労 やない れいこ 柳井 玲子 様
みやだ とみひろ 宮田 富弘 様

福田道子賞については今年度の表彰対象者はありませんでした。

令和4年度公益社団法人岡山県栄養士会定時総会開催

医療事業部 熱田 幸子

令和4年6月11日(土)、本年度もWeb配信にて「公益社団法人岡山県栄養士会定時総会」が開催され、来賓として岡山県知事 伊原木隆太氏からビデオメッセージを通じてご祝辞を頂戴しました。

その後、岡山県知事表彰、岡山県保健福祉部長表彰、福田道子賞の表彰が行われました。受賞された皆さま、おめでとうございます。

定時総会は書面表決832名であり、総会員数1542名の2分の1を満たし、有効に成立しました。第1号議案・公益社団法人岡山県栄養士会理事及び監事選任の件、第2号議案・公益社団法人日本栄養士会代議員選出の件、第3号議案・令和3年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計画書）、財産目録承認の件について審議の結果、原案通り承認、可決されました。

さらに理事会報告、令和3年度事業報告、令和4年度基本方針・事業計画・予算について、いずれも賛成多数で可決されました。また新理事24名、新監事1名、新代議員7名が信任され、定期総会は終了しました。

特別講演は「食事の乱れは言葉の乱れ。ボイトレで改善しましょう」と題して、NPO法人音楽の砦 松原徹氏による講演がありました。松

原先生は歌、ヴォイストレーニングを通じて、子どもたちの口腔機能発達不全症や高齢者の誤嚥防止に取り組まれておられ、私たち栄養士と同じように「食べること」につながる活動をされています。松原先生の話術に引き込まれ、あっという間の1時間でした。

①首の運動でノドボトケの上下運動を促し、飲み込む力アップや誤嚥防止。「てるてる坊主」を歌うと、ノドボトケがしっかり動いて、飲み込む力アップにつながるそうです。

②はっきりとした発声を行うためには胸郭を広げ、鼻呼吸を意識することが大切。猫背やまき肩になると胸郭が狭くなり、呼吸も浅くなる。口腔機能発達不全の子供たちの特徴は口がポカンと開いていることが多いので低舌位になりやすい。このため集中力が続かず、落ち着きがなくキレる子どもになりやすい。改善方法としては手をしっかり上にあげ、姿勢を良くすることで胸郭を広げ、鼻呼吸で深い呼吸をすることで集中力アップに繋げることができます。

③腰に負担をかけずに腹筋を鍛えるのが腹式呼吸。背中を意識し、お尻を締めて息を吐く、背筋を伸ばして息を吐くこと。腹式呼吸がうまくできる人は声が自然としっかりしてくる。高

年齢でお元気な方は声もしっかり出ていませんか？ちなみに、講演などで話をする時、1時間半前までに食事を済ませて横隔膜が十分に膨らむスペースを作ると、声を出しやすくなるそうです。その際、声帯がカラカラではいい声が出ないので、潤滑油になる水を40分前に飲むのがポイント。飲んだ水は腸から血管に移行するまで40分かかるため、常温の500mlの水がお薦め、ただし乳製品は声帯にからむためNGです。

④歌唱、講演など人の前に立つときには「オーラ」が重要です。顔の表情筋を上げ、目元を上げて声を出す、つまり自分の目線より少し高いところを見て話すことで息の角度が上がり、張りのある声になります。

ここで先生が人間の顔はスピーカーと同じだとお話しされました。口は低音、鼻は中音、眉間は高音だと。先生が「皆さん、口元だけでしゃべっていると老け顔になりますよ」と言われて思わず笑い声が聞こえてきました。口元だけで話すと、ほうれい線が下がり老けて見える、というわけです。外国の方は眉毛を上下させて表情豊かに話しますが、日本人は眉毛をほとんど動かさずに口元だけで話すことが多いようです。表情筋を上げて話すと若返る、声を眉間から出すような上に響かせるイメージで出すと張りのある若々しさがあふれて「オーラ」が出るのではないのでしょうか。表情筋を上げる練習には「んー」とハミングをすること、「月が出た出た～月が出た」や「ちょうちょ」に合わせてハミングしてみましょう。

⑤新型コロナウイルス感染症予防のためのマ

スクをすることで、皆さんの口に「隙」ができていませんか。マスクをしていると口元を気にしなくなるため、鼻の下が伸び、上唇のみならず口輪筋まで緩んでしまいます。マスクの弊害は思った以上に私たちの食生活に影響を与えています。

最後に「あめふり」を歌いました。歌詞の「ピッチピッチチャップチャップランラン」は特に唇のトレーニングになり、口輪筋、上唇から頬を引き締め、顔全体が引き締まり食べこぼし予防の改善につながる、これが今回の講演の総まとめとなりました。

この他にも「むかし遊び」を使って子どもたちに指導をされていました。飛沫の飛ばない遊びとして紙ひこうき、遠くに飛ばすためには背筋を伸ばして姿勢を意識できる。ストロー笛や吹き流しは唇が締め、息を集中させる、腹式呼吸の練習、など「むかし遊び」が非常に良いとのこと。講演のなかで童謡が多く紹介され、幼い時に童謡を歌い、むかし遊びをすることがどれだけ重要だったのか、日本の伝統は素晴らしいと改めて痛感しました。

私たち栄養士は患者さんやメディカルスタッフとコミュニケーションをとりながら仕事をしています。よりよい関係を築くためにも、自分の声を好きになり、表情豊かに会話ができるよう努めたいと感じました。

もっと松原先生を知りたいと思われる方は、毎週木曜日 8時20分頃からご出演のRSKラジオ「朝耳らじおGOGO」を是非お聴きください。

東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「**睡眠健康指導士**」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただきます。ぜひ幸いです。

※オンラインセミナーの開催も承ります。

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防対策（検定・うがい・手洗いのアルコール消毒・マスク等の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等）を行いながらセミナーを実施しています。

今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです。

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修
- メンタルヘルス研修
- 学校保健委員会
- 高齢者の睡眠ケア

※他、施設内研修などご相談承ります。
（事前に打ち合わせにお伺いする事も可能です。）

●セミナーに申し込み後は、二次元バーコードよりお問い合わせください。担当よりご連絡させていただきます。
<https://www.toyuemo.co.jp/yumesai>

東洋羽毛中四国販売株式会社 岡山営業所
〒700-0845 岡山県岡山市南区浜野4-3-37

～お問い合わせはお気軽に～
TEL 0120-224711

福田道子賞を受賞して

医療事業部 高瀬 綾子

名誉ある福田道子賞を受賞して1年が経ちました。坂本会長をはじめ、市川医療事業部長、普段活動を支えてくださっている栄養士会の皆様に感謝申し上げます。

私は岡山県栄養士会のスキルアップ研修委員（旧生涯教育委員）と医療事業部の役員をさせていただいています。役員を経験し、感じていることが2つあります。

1つ目は、横のつながりの大切さです。勤務先では職種を越えた連携、いわゆるチーム医療が当たり前になっていますが、他の職場や他の職域の方々との意見交換は自らが意識しなければなかなかできません。他施設の栄養士との交流は普段と違った刺激になり、また経験豊富な先輩方のお話は仕事をする上でとても参考になり、貴重なものだと思っています。

2つ目は、自己研鑽の大切さです。私は、病態栄養専門管理栄養士、がん病態栄養専門管理栄養士、静脈経腸栄養（TNT-D）管理栄養士の資格を持ち、現在はICUやがん患者さんの病棟などで栄養管理を行っています。資格マニアになる必要もないと思

ますが、今の自分の業務に役立つ分野の研鑽を積むことで、患者さんのために貢献でき、他職種から信頼されるエキスパートになれたらと思いつつながら、業務にあたっています。

このコロナ禍でオンライン研修も増え、自己研鑽しようと思えば、会場に行かずとも自宅のPCで、またスマホやタブレットを使って気軽に勉強できます。岡山県栄養士会では、仕事で日にちが合わない、育児が忙しくてという方でも、研修をオンデマンドで受講できるように配信しています。外部環境は整って来つつあるので、あとは自身がスキルアップしたいと思うかどうかです。私たちは、皆さんが参加したいと思うような研修会の企画に尽力しますので、ぜひ皆さん、積極的にご参加ください。医療の現場は日進月歩です。これからも自己研鑽を怠らず、精進してまいりたいと思います。



福田道子賞を受賞して

勤労者支援事業部 若林 智子

昨年福田道子賞を受賞し、改めて管理栄養士としての自覚と責任を持ち、栄養士業務を行うことの重みを実感すると共に、岡山県栄養士会への貢献・発展に寄与する使命があると実感致しました。

私は現在、委託給食会社で勤務しております。主な業務内容は受託先施設の品質（衛生）管理となります。受託施設を臨店し、様々な社内衛生管理マニュアルに基づいて、正しく管理・運用が出来ているのかの確認・指導をおこなっています。この対面での指導に加え、オンラインでの従業員研修や社内基準の見直し等を行い、品質管理水準のレベルアップを目指し、お客様に安心・安全で美味しいお食事を提供するために日々奮闘しております。

以前よりスポーツ栄養に興味・関心があり、2019年公認スポーツ栄養士の資格を取得しました。昨年度は大規模国際大会において、公認スポーツ栄養士として選手・スタッフ・関係者の方々への食事提供、管理・運営等に携わることができました。

岡山県栄養士会の健康・スポーツ栄養プロジェクトチーム主催の勉強会では、スポーツ栄養に興味・

関心のある栄養士会会員や学生の方々と一緒に勉強させていただいています。勉強会に参加する

ことで、スキルアップ出来ると共に情報交換や横の繋がりが出来るため、毎回楽しみに参加しております。スポーツチームへのサポートや個人サポートの際には、勉強会での情報がとても役に立っております。今後も積極的に参加していきたいです。

今後の活動として、栄養士会主催の勉強会や研修会ははじめ様々な研修会に積極的に参加し、最新の知見や情報をインプットしていきたいと思っています。そこから得た知識と経験を活かし、自身の活動の場をさらに広げ、岡山県栄養士会が活性化し、また地域に根差した栄養士会となるように努めて参ります。



令和4年度第1回岡山県栄養士会医療事業部研修会 開催

医療事業部 太田 敬子

令和4年5月28日に令和4年度第1回岡山県栄養士会医療事業部研修会が医療事業部、栄養部門管理者を対象に開催されました。今回も昨年同様zoomによるweb研修会となりましたが県外からの参加もあり、有意義な学びの時間を共に過ごすことができました。そして自分自身の日々の行動を振り返る貴重な機会となった研修会でもありました。

午前中は、「これから5年先を見据えた医療部門の栄養管理のあり方と管理者に求められること」と題して、倉敷中央病院副院長 救命救急センター長 集中治療科主任部長 人材開発センター長 福岡敏雄先生よりご講演がありました。「自分を育てる」という価値観が変化しており、悪い所を直すのではなく良い所を伸ばすという考え方や、ひとりで完璧に業務をこなすのではなくチームで完璧を目指すという考え方に変わってきています。リーダーにとっては、自分のチーム・部署をどれだけ形（成果の出せる場所・活躍できる場所・学びの場）にできるかが重要であり、そのためには安全なコミュニケーションスキルとマッチングスキル（ニーズのマッチング・学習内容と手法とのマッチング・学習者と指導スタイルのマッチング）を身につける必要があります。そして、良いコミュニケーションは医療の質を支える要因であり、その能力はチームの中で働く医療者が身につけるべきスキルです。コミュニケーションスキルを身につけるために実際に心がけることは次の通りです。

①ネガポジ変換（ネガティブな事柄をポジティブに言い換える） ②しゃべらないコミュニケーション（まず黙って、相手からの発言を引き出す） ③しゃべるときの原則：いきなり長くしゃべらず、適度に間を置く。まず共感的に話しを進めて、その上で探索的に話を進めるという手順がよい ④「I（あい）」メッセージを使う（見たことをそのまま繰り返し、そのことで生じた自分のどちらかというネガティブな感情をそのまま伝える。自分を主語にしたメッセージ） ⑤サンドイッチ法（伝えたいネガティブなことをポジティブなことで挟む） ⑥フィードバックスキル（まず良い所を探し、伝える。次に問題点・改善点を探し、改善点を伝える。この手順と順番を繰り返す）

そして最後に、良いリーダーとは「このようにするのだ」という方向性を示すことができ、わかりやす

い言葉で伝えることができる人である」とまとめられました。

午後からは講演が2題あり、まず「我が国の医療機関分類 診療報酬の裏話～ここがポイント！規模に応じた栄養管理体制と診療報酬～」と題して、健康環境分析研究会代表理事 渡辺康則先生より令和4年度診療報酬改正の要点について疑義解釈の資料も示していただきながらの講演でした。最後に①人員や医療機関の機能を正しく認識し、関連する診療報酬の要項や施設基準を考慮して、できることをしっかり実行すること ②経験を要する算定、研修を受講しなければならない算定がある。今も大事だが、将来その医療機関でどのような機能を持ち、どのような方向に向かうのかを考えて人材育成をすること

③人口減を素直に理解し働き手の確保をしなければ、できることもできなくなり患者さんに対し質の高い医療提供が難しくなると話され、ご講演を締めくくられました。

続いて「岡山県の実態調査の詳細報告と問題点」と題して、岡山県栄養士会医療事業部副部長 黒住順子先生より岡山県栄養士会医療事業部が毎年行っている実態調査結果の報告がありました。実態調査を実施することにより問題点（管理栄養士・栄養士の実働者数が直営・委託ともに減少傾向、研修会や生涯教育への参加が少ない現状、給食材料費の高騰化、栄養情報提供書を作成は55%であるにも関わらず算定率は27%と少ない状況等）が見えてきました。医療事業部として問題を抽出し改善に向けて対応していくために今後も実態調査を行い続けていく予定です。引き続きご協力よろしく願いいたします。

医療事業部では今年度も皆様のニーズに沿った研修会を企画していく予定です。栄養士会の会員（仲間）になりお互い切磋琢磨し、スキルアップに努めましょう！



お客様の信頼と満足を得る 心のこもった食事サービスを提供する 日清医療食品株式会社 太田捺菜恵・古谷野浩子

私たちが働く日清医療食品では、「おいしく食べて元気に！」をモットーに、医療・福祉施設・保育に特化した給食業務を受託（コントラクトフードサービス）をしています。今回は私たちが給食部門を受託している2つの事業所について紹介します。

特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター

太田捺菜恵

私の勤務する特別養護老人ホーム岡山シルバーセンターでは、特養の他に通所介護、ケアハウスに給食を提供しています。食数は朝食、夕食が70食、昼食は職員食も含めて110食ほどを提供しています。

給食の内容は、ご利用者様の摂食・嚥下状態に配慮して、主食と副食をそれぞれ5種類から選択できるようにしています。少しでも長く、口からおいしく食べていただけるように、安全・安心で真心を込めた給食の提供を心掛けています。

また行事食やイベント食は、季節感あふれるメニューや旬の食材を生かしたメニューを提供することで、ご利用者様の生活に潤いをもたらすお手伝いをさせていただいています。

私は日清医療食品で働き始めて2年目に入り、献立作成や発注、月末の棚卸などを始めています。現在は先輩

の栄養士と2人態勢ですが、早く業務を覚えて1施設を任せられる栄養士になることと、召し上がる方のニーズを把握し、選ばれ喜ばれるお食事を提供できるようにすることが今後の目標です。



岡山シルバーセンターで提供している嚥下調整食

谷口レディースクリニック

古谷野浩子

私が勤務している谷口レディースクリニックは、総社市真壁という地域にあり、美しい自然の景色の中にあります。クリニックの敷地内には、四季折々の美しい花が咲き乱れています。

当院は、栄養士1名、調理師1名、調理職員1名の3名で毎日の調理業務に当たっています。提供しているお食事は、産後に適切な栄養バランスを重視しています。具体的には、妊産婦と赤ちゃんの「健康」と「母乳の質」を考え、たんぱく質やカルシウム、鉄分、葉酸をおいしく摂れるように工夫しています。また、私がアレルギーのある患者様に直接お話をお聞きした上で、対応食を調理しています。

また、心と体に優しいだけでなく、華やかなお調理を提供するように心掛けています。特別なメニューとして、退院前にお祝いと子育てへの応援の気持ちを込めた「お祝い膳」を、行事食として節分やひな祭り、こどもの日、七夕、クリスマスなどにちなんだお食事を提供しています。

行事食も毎年同じものではなく、少しずつ新しいものを取り入れ、患者様だけではなくスタッフの皆様にも喜

んでいただけるように取り組んでいます。患者様から直接「おいしかった」、「毎日の食事が楽しみで、幸せでした」などのお言葉をいただいた時には、とても嬉しく毎日の業務の励みになっています。

入院中のお食事は、患者様にとって大きな楽しみであると同時に産後の心身をいたわる大きな要素です。食べておいしいだけでなく目で見て楽しめ、心が嬉しくなる様なお食事が提供できるように、これからも向上心を持ち日々頑張っていきたいと思います。



谷口レディースクリニックで提供しているお祝い膳

YouTube動画を活用した市町村栄養士の活動について

公衆衛生事業部 岡山市町村栄養士研究協議会 井上 敦子

岡山市町村栄養士研究協議会は、市町村同士の連絡調整や資質向上に努めて効果的に住民の健康の保持及び増進を図ることを目的とした組織で、主に公衆衛生業務に従事する栄養士が会員です。当会では昨年度からYouTube公式チャンネルを作成し、災害対応食、生活習慣病予防食、離乳食、幼児食等の分野別に料理の作り方やポイント、栄養に関する知識を普及する動画を投稿しています。

①YouTube公式チャンネルを作った経緯

新型コロナウイルス感染症が流行した当時、県内多くの市町村が離乳食教室やマタニティー教室、栄養・健康教室等で調理や試食の実施が出来ず、参加者が調理の工夫や楽しさを感じ、料理を味わうことを通して食生活の気づきや実践に繋げることが難しくなっていました。そこで、栄養士が住民の健康づくり支援を行うための手段として、当会でYouTubeによる健康教育動画を作成・配信することになりました。

②動画を大学と連携し作成・投稿

会員は各市町村自治体で働いており、かつコロナ禍で頻繁に集まることが難しく動画作成に関する知識も乏しかったため、県内の大学と連携を図り動画を大学に作成していただきました。その後、会員で内容を確認し動画を投稿、その動画を各市町村で教材として活用できる仕組みを作りました。動画の内容を検討する際、コロナ禍における世代別の健康課題や市町村の取組み、また分野別の料理資料を大学へ提供し、それを参考に動画を作っていました。

③投稿動画の現状と紹介チラシの作成

現在、6大学にご協力いただき、災害対応食・生活習慣病予防食・離乳食・幼児食の4種類、合計11個の動画を投稿しています。新しい動画は随時、会員へメールでお知らせしていましたが住民へYouTube公式チャンネルの紹介をする際に使える媒体がなかったため、今年度、新たにチラシを作成し各市町村で活用してもらえるようにしました。

☆YouTube公式チャンネル紹介チラシ

☆二次元コードから

YouTube公式チャンネルへ



④市町村での動画の活用方法

最後に各市町村での動画の活用方法を紹介します。

離乳食や幼児食の動画は、母子アプリに動画のリンクを貼り赤ちゃん教室や乳幼児健診で対象者に紹介したり、個別相談時に離乳食の取り分けについて動画を見せながら対象者に説明したり、乳幼児健診時に会場で動画を再生するなど、各市町村が利用しやすい方法で動画を活用しています。

また、栄養委員活動では住民へ広報誌とともに全戸配布する「愛育・栄養委員だより」へ災害時のバッククッキング動画の二次元コードを載せて紹介したり、栄養委員研修会や理事会において生活習慣病予防食の動画視聴を行ったりしています。

今後も大学と連携を図り健康課題と対象者のニーズに合わせた動画を検討し、市町村においても様々な場面で動画を活用した教室や相談を実施する予定です。

最後に、この事業を実施するにあたり、御協力いただいている関係大学の皆さまに対しまして、心より感謝申し上げます。

☆「愛育・栄養委員だより」の一部

☆離乳食講座で動画を使用して作り方紹介



スポーツ栄養勉強会について

地域活動事業部 入谷 尚美

2月26日(土)第6回スポーツ栄養勉強会を開催しました。はじめに、岡山県栄養士会賛助会員、キュービー(株)様よりお話しいただき、身近にあるドレッシングやマヨネーズについて改めて知ることができました。また、豆乳加工品をベースに大部分を植物由来の原材料で作ったスクランブルエッグ風の商品「ほぼたま」は、サンドイッチなどにはさむと見た目はスクランブルエッグですが、実は卵不使用ということに驚きました。業務用のみということですが、こういった商品を知ることができ、今後のレパートリーとして必要な情報をいただきました。

その後、下田裕恵先生より、審美系競技「新体操」での栄養サポートについてお話しいただきました。新体操は、柔軟性や跳躍力、全身持久力、細く強靱な筋肉だけでなく美しく痩身な身体も求められる中で、月経を迎える中高生で体型が変わり苦しむ選手が多いという現状にあります。その結果、減量のために食事を減らそうと考えがちになっているということでした。

スポーツ選手だけでなく、スポーツをしていなくても、体脂肪のつきやすいこの時期は、容姿を気にして減量したいと無理な食事制限をすることもあります。成長期という大事な時期に、何かを抜くという無理な減量をしてしまうとエネルギー不足・無月経・疲労骨折という症状(女性アスリートの三主徴)になり、将来にわたって苦しむこともあります。今回、具体例として体重の増減が激しく体力がなかった選手の食事での取り組みや変化などについても教えていただきました。選手や保護者から「こんなに食べていいんですか」という声が出てくるほど、食事制限をしている選手もいて、食べてはいけないという認識があるのだと実感しました。目先の体重だけに目をむけてしまうと水分で体重調整をしたり、嗜好品を食べたいために食事を抜くようになってしまいます。

今回のサポート例では、月経を全員発現、だるさがなくなったなど選手自身の感じている変化もあり、結果競技成績も向上しました。成長期という大事な時期は、競技成績以上に順調な発育発達がとても大事です。月経が発現し、主食も食べるように選手自身の気持ちに変化したことはとても大切だと感じました。

選手一人一人状況が異なるため、寄り添って考えることで、選手、保護者、監督の考え方の変化など私たちがすべきことを再度考えることができた時間になりました。私自身減量したいという思いから無理な食事制限をし、体調不良に悩んだことがきっかけで栄養学に興味を持ちましたが、情報は日々新しくなり、出産・育児をはさむと不安になることもありました。そういったときに研修会は、新たな情報を得る貴重な機会となっています。

食事の重要性をどのように伝えていくか、日々考え工夫していく中で、同じ伝え方でも人によって受け止め方が異なり、教科書通りにいかないこともあります。それでも、栄養学に興味がなかった選手が、質問をしてくれるようになるなど、日々やりがいも感じます。

講演後の討論会では、グループにわかれて色々な方の話を聞けることもこの勉強会の魅力だと感じています。今回は、「栄養状態の評価はどのように行うか」をテーマにディスカッションをし、様々な立場での取り組みや連携について伺うことができました。

スポーツは体育の授業なども含めると、子供たちにとって、とても身近なところにあります。栄養士という立場でできることを一緒に考えてみませんか。9月3日に次回の勉強会を予定しております。

10月8日(土)には、園田学園女子大学 松本範子教授をお招きし、「スポーツ栄養について知ろう!」をテーマにご講演いただきます。皆様のご参加お待ちしております。

TOTAL KITCHEN SOLUTION!



株式会社 **福井厨房**

日本厨房工業会会員 G・K・Sチェーン協会

業務内容

業務用・家庭用キッチン設計(3Dイメージベース) / 厨房設備施工及びメンテナンス / 厨房器機等の買取(査定) / 中古品の販売及びレンタル / ステンレス鍍金製品・フード製作 / フードダクト工事・ステンレス貼り工事 / 厨房床工事(保証付) / 食品(プラント)・農産加工(6次化)のプランニング

取扱品目

業務用厨房機器 / 食器調理道具・備品・ユニフォーム他 / 衛生関連商品 / オーダーメイドシステムキッチン / 省人化ロボット / セルフオーダーシステム

- 本社 / 〒700-0953 岡山市南区西市263-1
Tel.086-241-9551 Fax.086-241-2792
- 福山営業所 / 〒721-0963 福山市南手城町3丁目11-24
Tel.084-923-5362 Fax.084-932-3789
- 高梁出張所 / 〒713-1321 高梁市有漢町有漢8153
Tel&Fax.0866-57-3009

LINE 公式アカウント

QRコードから福井厨房の公式ラインアカウントをともだち登録して最新情報・お得な情報をGET!



はばたけ 栄養士

「在宅高齢者を支える身近な存在の管理栄養士を目指して」

福祉事業部 田窪英里子



私は、株式会社アール・ケアの通所介護事業部で管理栄養士として勤務しています。今年の4月より2年目となり1年前と比べ成長を実感しつつ、理想の通所施設の管理栄養士像に近づけるよう日々精進しています。今後も後期高齢者が増加する見込みの中で、学生時代から高齢者の低栄養問題について関心があり福祉部門に興味を持ちました。福祉部門の就職先としては、入所施設が一般的とされており、通所施設という働き方がある事を知っている方はまだまだ少ないのではないのでしょうか。私も就職活動中に偶然見つけた自社であれば、「身近な存在の管理栄養士」として、自宅の食生活の改善という根本的な栄養面のサポートが出来ることに興味を持ち、通所施設の管理栄養士の道を選びました。

現在は自社が展開する複数の通所施設を兼務し、低栄養リスクの高い方に対して、栄養相談などの栄養管理業務を行っています。栄養管理の方法は多種多様で、自宅に訪問し食環境の確認やご家族様へ具体的な方法の提案を行う事もあります。このように一人一人に対しての最善策を考え、栄養状態の維持・改善を目指しています。また、今年の2月より自社が展開するグループホームへの栄養介入も開始しました。

昨年は本当に何度も壁に直面した1年でした。本来、1年目は敷かれたレールの上を歩き基礎を固めていく時期であると思います。しかし通所の管理栄養士の存在はまだまだ浸透しておらず、レールが正しい方向に向いているかも分からない手探り状態でした。経験はわずかなものの他職種、お客様からは「管理栄養士」という専門職としての栄養学の知識やコミュニケーション能力、通所管理栄養士の存在の周知、お客様と関わることで得られる成果など、求められるものは多岐にわたります。また、在宅高齢者は想像以上に医療情報が少ないことも壁となり

ました。一方で入所施設とは異なり、お客様の家庭環境、家族背景、金銭感覚、生き立ち、思考回路の癖など、お客様の人生をより深く知ることで、より良い栄養相談に役立てていくことに面白さを感じています。

現在関わっているお客様に認知症の方がいらっしゃいます。介入当初は会話を行う事も出来ていましたが、現在は症状の進行により理解力が乏しい状態となっています。そこで、お客様にとってより良い栄養介入が出来るよう方法を見直し、ご家族様との関わりを強化しようと思いました。まずは、定期的に自宅に訪問し食事の準備をしているご家族様と他愛のない話から始めました。その結果、少しずつ信頼関係ができ、今後の不安や日々、症状の進行を感じる辛さを打ち明けてくださった時には一緒に涙を流すこともありました。このように信頼関係を構築し、身近な存在になることで栄養面での聞き取りや提案への受け入れが良くなり、より良い介入に繋がったのではないかと思います。管理栄養士としての経験はわずかですが、本気で向き合い寄り添おうとする姿勢は自然と伝わり、身近な存在の管理栄養士として必要不可欠なものではないかと思います。

お客様の人生をより深く知り、継続的に関わる事が出来る事が通所施設の管理栄養士の魅力の一つだと思います。また、グループホームにも介入し始めたことで、在宅高齢者の低栄養の改善、予防が重要であることを改めて痛感しています。1年目は先輩や周りの職員に支えられ無我夢中で業務に取り組み、一瞬で月日が流れたように感じます。その中で、多くの方々と関わり、人として、管理栄養士としての両面で成長できた1年でもありました。2年目となり、後輩が出来たことで気づかされることも多々あり自分の未熟さを痛感する日々ですが、自社の職員をはじめとした多くの方々に囲まれて仕事することに充実感を覚えています。今後も通所介護施設の管理栄養士としての経験を重ね、在宅高齢者にとってより身近な存在になれるよう努めていきたいです。

事務局だより

令和3年度理事会報告

■臨時理事会（メール審議）（2022年2月3日）

1. 審議・承認事項
 - (1)令和4年度役員改選について
 - ・選挙管理委員および選挙管理者の承認
 - ・議長および議事録署名人の承認

■第3回理事会（Web）（2022年3月5日）

1. 報告事項
 - (1)常任理事会報告
 - (2)各種委員会報告
 - (3)令和4年度役員改選について
 - (4)その他
2. 審議事項
 - (1)令和4年度定時総会 講師の選定について
 - (2)年会費について
 - (3)令和4年度からの研修会時の企業情報提供について
3. 承認事項
 - (1)福田道子賞について
 - (2)令和4年度賛助会入会予定
 - (3)職務執行状況
4. その他

令和4年度理事会報告

■第1回理事会（ハイブリット）（2022年6月9日）

1. 報告事項
 - (1)令和4年度公益社団法人日本栄養士会定時総会出席報告
2. 審議事項
 - (1)令和4年度定時総会反省について
 - (2)理事の役割と令和4年度会務分掌について
3. 承認事項
 - (1)職務執行状況
 - (2)新入会員・再入会員について
 - (3)賛助会員入会について
4. その他



令和4年度・5年度理事役割分担表

部会と役割	部長 (◎)・担当理事・スタッフ	委員等
広報部 ・広報誌「なかま」の編集 ・ホームページのリニューアル推進 ・会員増対策案の検討	◎森光(副会長) 本多(勤労)・西村(研究)・佐守(公衆)・ 山口(玉野)・橋本(津山)・宇野(岡山)・ 寺尾(専務理事) 小山(40周年記念誌作成委員長)	・なかま編集委員 ・40周年記念誌作成
研修部 ・生涯教育、日本栄養士会、岡山県委託研修会 の講演や内容の検討	◎光森(副会長) 市川(医療)・光畑(学校)・本多(勤労)・西村(研究)・ 小野(公衆)・窪田(福祉) 寺尾(専務理事)	・スキルアップ研修委員
栄養ケア・ステーション部 ・支部サテライトとの連携、育成、支援、 企画、認定CS申請窓口	◎下山(副会長) 山口(玉野)・金谷(東備)・清水(総社)・畦崎(井笠)・ 大久保(高梁)・藤野(新見)・池田(真庭)・橋本(津山)・ 浅浦(勝英)・宇野(岡山)・新田(倉敷)・柿本(瀬戸内)・ 小野(公衆) 春名(県栄CSコーディネーター) 寺尾(栄養成分表示普及活動:県委託)	・栄養成分表示店普及促進委員
JDA-DAT岡山 ・災害支援のスキルアップ研修企画、運営等 ・災害時の支援、受援等活動全般	◎細川(地活) 佐守(公衆) 窪田・光畑・光森(JDA-DATリーダー:理事)	・JDA-DATリーダー ・研修修了者



今年は瞬間に梅雨が明け、うだるような暑さが続いています。皆さんお元気でお過ごしでしょうか？さて、今年の「栄養の日2022」のオリジナルバッジは皆さんご存じでしょうか？より多くの方へ「栄養の日、栄養週間」を知っていただくために、可愛らしいムーミンのデザインのバッジを職場の仲間と身につけ、今年は業務に取り組もうと思います。

編集委員 久米川麻子

「安心」と「おもてなしの心」を届ける

Fujitaka 配膳車 検索

フラットトレイ適温配膳車

「和」 iクッカー

-NAGOMI-



調査方法: インターネット調査
調査概要: 2021年1月 サイトのイメージ調査
調査提供先: 日本トレンドリサーチ

新発想! 食札や小物が置ける
ユーティリティスペースで
配膳効率もアップします!

●標準カラー-木目



●漆調フラットトレイ



●ランチョンマット



**安心
安全**

**菌の繁殖を防ぐ、
業界最高水準の温度管理性能!**

安心してお使いいただくために、Fujitakaの温冷配膳車は、抜き取り検査ではなく1台1台、専門技術者が基準をクリアしているかを検査しています。庫内上下段の温度差が大きくなりがちな温冷配膳車ですが、業界最高水準の温度差±5.0度以下という厳しい基準をクリアしつつ、温度差±2.5度以下を目指して出荷しています。

**満足
向上**

**漆調トレイ・ランチョンマットで
食事の「質」をグレードアップ!**

行事食や特別食などワンランク上の食事提供をご提案。フラットトレイ・漆調トレイ・催事に合わせたランチョンマットが充実しているのもパイオニアであるFujitakaのこだわりです。

NFRW-iCシリーズ
ラインナップ
小型タイプ: 24膳・28膳・32膳・36膳・40膳
大型タイプ: 42膳・48膳・54膳

栄養士の皆様、このようなことでお困りではありませんか?

**Q. エレベーターへの乗り降りが
可能なサイズが気になります。**

A. 当社従来機と比較し、本体サイズを40mm小さくしたことによりエレベーターの乗り降りや、狭いスペースでの操作性が向上。フラットトレイ対応の適温配膳車の中では、業界最小の適温配膳車です。

**Q. 徹底して食中毒予防を行いたい。
どのような予防策がありますか?**

A. Fujitakaでは温冷配膳車庫内を手軽に殺菌・消毒できる「ジアミスター®」をお薦めています。食品添加物の殺菌料ですので、安心・安全に食中毒予防ができます。



●オリジナル適温配膳車・フラットトレイに関するお問い合わせは・・・

(受付時間・平日/9:00~17:00)

株式会社 Fujitaka®

0120-533771

京都市下京区東塩小路町606 三旺京都駅前ビル7F FAX.075-371-9905 全国の営業・サービスネットワークでサポート <https://www.fujitaka.com>